

# 平成31年2月 全国百貨店売上高概況

平成31年3月22日

## I. 概況

1. 売上高総額	4,220億円余
2. 前年同月比	0.4% (店舗数調整後/4か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	79社 217店 (平成31年1月対比-1店)
4. 総店舗面積	5,446,857㎡ (前年同月比:-4.3%)
5. 総従業員数	66,971人 (前年同月比:-4.6%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	7-9月 -3.4%、8-10月 -0.4%、9-11月 -0.6%、 10-12月 0.0%、11-1月 -1.3%、12-2月 -1.1%

[参考] 平成30年2月の売上高増減率は-0.9% (店舗数調整後)

### 【特徴】

2月は、株価や為替が安定したことで、前月苦戦した高額商材が好転した他、春節商戦を中心にインバウンドも活況を取り戻し、売上高は0.4%増と4か月ぶりのプラスとなった。バレンタインなどの季節催事も集客と売上に寄与した。

顧客別では、国内市場(シェア92.4%/0.6%減)は僅かに前年割れだが、インバウンド(シェア7.6%)は過去最高の319億円(14.8%増)を記録し、客単価も8か月ぶりにプラス回復した。

地区別では、10都市が0.7%増と3か月ぶりにプラス。大阪(4.0%増)や名古屋(3.7%増)など、5都市(札幌、仙台、名古屋、京都、大阪)でプラスした。地方(10都市以外の地区)は0.5%減(22か月連続)とマイナスではあるが、5地区(北海道、東北、近畿、四国、九州)で前年をクリアしたことで、前月よりも2ポイント減少幅を縮め、ほぼ前年並みの水準に迫ってきた。

商品別では、国内外顧客ともに好調な化粧品(9.8%増)と高額品(美・宝・貴/2.7%増)、ラグジュアリーブランドなどが牽引し、雑貨(5.1%増)と身のまわり品(1.3%増)がプラス転換した。衣料品(1.1%減)は前年実績を若干下回ったが、月後半の気温上昇により春物商材が動きを見せ、主力の婦人服・洋品(0.4%増)に限れば4か月ぶりにプラスした。食料品(0.9%減)は生鮮食品、惣菜の不振で4か月連続マイナスだが、菓子(0.7%増)とその他食料品(0.2%増)は前年をクリア。特に、毎年盛り上がりを見せるバレンタイン商戦は、贈答から自家需要を含め、幅広い世代が楽しめるイベントへと市場拡大している。

### 【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「2月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇気温が全国的に高く、北・東・西日本日本海側では降雪量がかなり少なく、西日本日本海側では記録的な少雪となった。また、降水量は北日本と東日本日本海側で少なく、九州南部と沖縄・奄美で多かった。

(2) 営業日数増減 27.7日(前年同月比 ±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日( " ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数121店舗)

①増加した:42店、②変化なし:38店、③減少した:41店

(5) 2月歳時記(バレンタインデー、節分)の売上(同上/有効回答数87店舗)

①増加した:18店、②変化なし:49店、③減少した:20店

## 全国百貨店 売上高速報 2019年2月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>全国</b>	<b>422,033,039</b>	<b>100.0</b>	<b>0.4 (-1.6)</b>
<b>10都市</b>	<b>300,778,157</b>	<b>71.3</b>	<b>0.7 ( 0.3)</b>
札幌	12,582,010	3.0	0.7
仙台	5,250,244	1.2	1.3
東京	116,854,954	27.7	-0.5
横浜	24,485,612	5.8	-1.8
名古屋	27,337,649	6.5	3.7 (-0.2)
京都	17,354,292	4.1	0.9
大阪	63,099,337	15.0	4.0
神戸	10,272,237	2.4	-2.7
広島	8,343,383	2.0	-1.7
福岡	15,198,439	3.6	-0.8
<b>10都市以外の地区</b>	<b>121,254,882</b>	<b>28.7</b>	<b>-0.5 (-6.3)</b>
北海道	1,024,221	0.2	4.9 (-16.6)
東北	6,320,401	1.5	2.0
関東	51,694,357	12.2	-3.1 (-13.1)
中部	9,850,464	2.3	-2.0 (-2.6)
近畿	16,281,043	3.9	2.6 (-3.6)
中国	8,948,241	2.1	-2.9
四国	7,074,866	1.7	7.1
九州	20,061,289	4.8	2.5

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>総 額</b>	<b>422,033,039</b>	<b>100.0</b>	<b>0.4 (-1.6)</b>
紳士服・洋品	22,840,559	5.4	-4.6 (-6.8)
婦人服・洋品	74,890,343	17.7	0.4 (-1.9)
子供服・洋品	9,319,411	2.2	-3.8 (-5.4)
その他衣料品	7,872,820	1.9	-1.0 (-4.7)
<b>衣 料 品</b>	<b>114,923,133</b>	<b>27.2</b>	<b>-1.1 (-3.4)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>55,153,053</b>	<b>13.1</b>	<b>1.3 (-1.5)</b>
化粧品	44,976,515	10.7	9.8 ( 8.7)
美術・宝飾・貴金属	26,250,136	6.2	2.7 ( 1.0)
その他雑貨	15,832,219	3.8	-3.0 (-5.9)
<b>雑 貨</b>	<b>87,058,870</b>	<b>20.6</b>	<b>5.1 ( 3.4)</b>
家 具	5,083,272	1.2	14.2 ( 10.1)
家 電	1,423,148	0.3	-8.9 (-8.9)
その他家庭用品	10,805,301	2.6	-6.8 (-9.1)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>17,311,721</b>	<b>4.1</b>	<b>-1.7 (-4.2)</b>
生 鮮 食 品	19,135,674	4.5	-4.2 (-5.9)
菓 子	48,332,410	11.5	0.7 (-0.6)
惣 菜	23,813,469	5.6	-2.7 (-3.7)
その他食料品	32,297,130	7.7	0.2 (-1.8)
<b>食 料 品</b>	<b>123,578,683</b>	<b>29.3</b>	<b>-0.9 (-2.4)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>10,773,075</b>	<b>2.6</b>	<b>-1.5 (-3.6)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>4,567,361</b>	<b>1.1</b>	<b>1.7 (-0.4)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>8,667,143</b>	<b>2.1</b>	<b>-7.6 (-8.8)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>6,778,476</b>	<b>1.6</b>	<b>-8.0 (-8.8)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	0.7% (店舗数調整後/3か月ぶりプラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-0.5% (店舗数調整後/22か月連続マイナス)

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>0.7</b>	<b>0.5</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
札幌	0.7	0.0	2か月ぶりプラス
仙台	1.3	0.0	3か月ぶりプラス
東京	-0.5	-0.2	3か月連続マイナス
横浜	-1.8	-0.1	2か月連続マイナス
名古屋	3.7	0.2	2か月ぶりプラス
京都	0.9	0.0	2か月ぶりプラス
大阪	4.0	0.6	2か月ぶりプラス
神戸	-2.7	-0.1	4か月連続マイナス
広島	-1.7	-0.0	4か月連続マイナス
福岡	-0.8	-0.0	2か月連続マイナス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-0.5</b>	<b>-0.1</b>	<b>22か月連続マイナス</b>
北海道	4.9	0.0	2か月連続プラス*
東北	2.0	0.0	18か月ぶりプラス*
関東	-3.1	-0.4	8か月連続マイナス
中部	-2.0	-0.0	8か月連続マイナス
近畿	2.6	0.1	2か月ぶりプラス
中国	-2.9	-0.1	11か月連続マイナス*
四国	7.1	0.1	4か月ぶりプラス
九州	2.5	0.1	4か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、身のまわり品と雑貨が2か月ぶりのプラスとなった。また、家庭用品が38か月連続、衣料品が8か月連続、食料品が4か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が47か月連続、美術・宝飾・貴金属、菓子が2か月ぶり、家具が3か月ぶり、婦人服・洋品、その他食料品が4か月ぶりのプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>0.4</b>	<b>—</b>	<b>4か月ぶりプラス</b>
紳士服・洋品	-4.6	-0.3	8か月連続マイナス
婦人服・洋品	0.4	0.1	4か月ぶりプラス
子供服・洋品	-3.8	-0.1	8か月連続マイナス
その他衣料品	-1.0	-0.0	40か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-1.1</b>	<b>-0.3</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>1.3</b>	<b>0.2</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
化粧品	9.8	1.0	47か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	2.7	0.2	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	-3.0	-0.1	2か月連続マイナス
<b>雑貨</b>	<b>5.1</b>	<b>1.0</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
家具	14.2	0.2	3か月ぶりプラス
家電	-8.9	-0.0	6か月連続マイナス
その他家庭用品	-6.8	-0.2	35か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-1.7</b>	<b>-0.1</b>	<b>38か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-4.2	-0.2	4か月連続マイナス*
菓子	0.7	0.1	2か月ぶりプラス
惣菜	-2.7	-0.2	4か月連続マイナス*
その他食料品	0.2	0.0	4か月ぶりプラス*
<b>食料品</b>	<b>-0.9</b>	<b>-0.3</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-1.5</b>	<b>-0.0</b>	<b>22か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>1.7</b>	<b>0.0</b>	<b>15か月ぶりプラス</b>
<b>その他</b>	<b>-7.6</b>	<b>-0.2</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-8.0</b>	<b>-0.1</b>	<b>96か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>